



工 事 概 要	工事延長 L=225.8m
	舗装工
	(車道部) 表層工A=2,281m2 基層工A=2,113m2
	(歩道部) 表層工A=675m2 路盤工A=482m2
	側溝工 L=191m
	歩車道境界ブロック工L=383m

表彰区分	所長等	事務所名	県央県土整備事務所	工事名	(主)大田桜江線(行恒工区)交通安全補助工事(補正) 第8期			
部門	土木部門	工種	道 路	受注者名	東幸建設 株式会社	主任技術者	波多野 元基	



工
事
概
要

工事延長 L=184.8m
掘削工 V=4,800m³
盛土工 V= 860m³
植生工 A=1,400m²
防草コンクリート A= 332m²
ガードレール L= 117m

表彰区分	所長等	事務所名	県央県土整備事務所	工事名	(一)池田久手停車場線(小屋原工区)総合交付金(改築)工事(補正) 第3期			
部 門	土木部門	工種	道 路	受注者名	株式会社 堀工務店	主任技術者	三星 元	



工事概要	上流側
	工事延長 L=12.2m 間知石積 A=61m2
	下流側
	工事延長 L=12.5m 練石積工 A=25m2

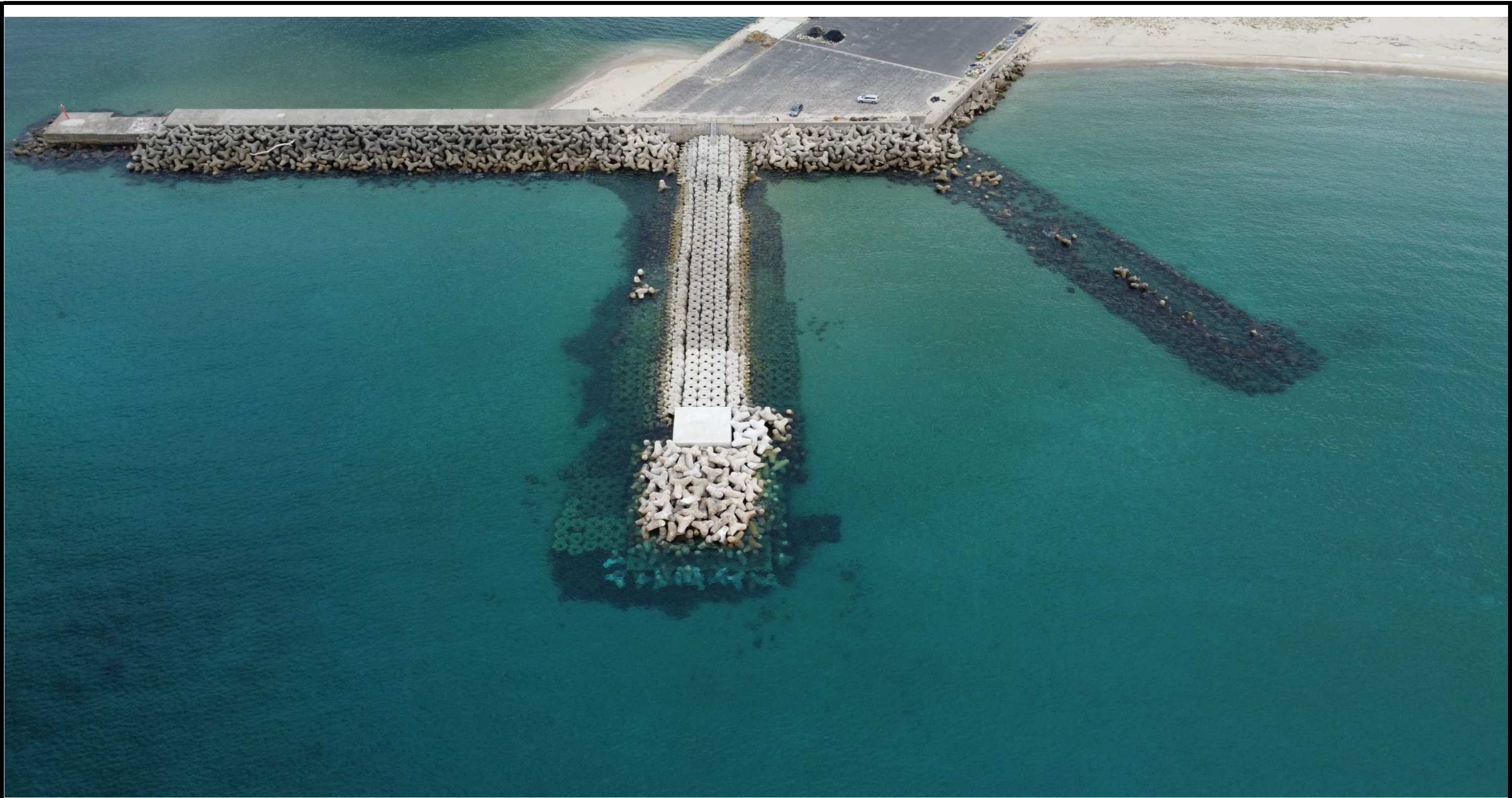
表彰区分	所長等	事務所名	県央県土整備事務所		工事名	銀山川 県単河川維持修繕(護岸)工事(災害関係)			
部 門	土木部門	工種	河 川	受注者名	有限会社 井口建設			主任技術者	井口 由紀



工
事
概
要

工事延長 L=23.6m
5災16号(工事延長L=16.6m)
コンクリートブロック積 A=63m²
5災17号(工事延長L=7.0m)
コンクリートブロック積 A=26m²

表彰区分	所長等	事務所名	県央県土整備事務所	工事名	銀山川 河川災害復旧工事(5災16号、17号)		
部 門	土木部門	工種	河 川	受注者名	稗田産業 有限会社		



工事 概要	工事延長 L=21.7m		
	捨石投入 V=432m3	本体(方塊)ブロック製作 N=6個	
	本体(方塊)ブロック据付 N=9個	消波ブロック製作 N=30個	
	消波ブロック据付 N=213個		

表彰区分	所長等	事務所名	県央県土整備事務所	工事名	久手港 防災安全交付金(統合)工事 第9期		
部 門	土木部門	工種	港湾空港	受注者名	黒徳建設 株式会社	主任技術者	金築 弘明



工事 概要	工事延長	L=2,202m
	表層工	A=3,940m ²
	区画線工	L= 241m

表彰区分	所長等	事務所名	県央県土整備事務所		工事名	上野地区 舗装復旧工事		
部 門	農林水産部門	工種	農業土木	受注者名	東幸建設 株式会社		主任技術者	日向 高弘

表彰区分	所 長	部門	土木設計	事務所名	県央県土整備事務所 大田事業所		
業務名	令和5年度補正 三瓶ダム ダムメンテナンス事業 電気通信設備等詳細設計業務			受賞者	株式会社 エイト日本技術開発	技術者表彰	立花 猛

表-6.1.1 概略設計時の課題に対する対応結果 6.3 コスト削減設計計画書

項	区分	検討課題	詳細はごまはは検討方針、留意点	実施設計時の対応結果
1		防災無線用網上の使用特施 (伝送容量)	・消防総務課との協議により、三瓶ダム～高山中継間の伝送容量は将来性も考慮し13Mbpsとした。ただし、高山中継～大田中継～大田事業所間の伝送容量については、実施設計時には可確認が必要となる。	・消防総務課との協議を行い、13Mbps 容量の承認を得た。
2		防災無線用網上の設定変更	・三瓶ダム～高山中継間の伝送多重化装置に更新する場合、防災無線用網上の設定変更(13Mbps)が必要となる。協議では消防総務課の維持管理で設定変更を実施するが、実施設計時には対応装置および設定変更内容について可確認を行う必要がある。	・消防総務課の維持管理において実施することを確認した。
3	多量無線設備	通信鉄塔の強度検討	・バツバツ 2m から 3m へと変更することはない。実施設計では、三瓶ダム管理所・野城川継・高山中継間の通信鉄塔の強度確認を行い、必要に応じて消滅又は増設検討を実施する必要がある。	・通信鉄塔(上部・基礎)の強度確認結果により、以下の対応設計・工事が必要である。 ①三瓶ダム管理所(上部工強度不足、管理所への応力変更に伴う管轄課への相談) ②野城川継(基礎強度不足) ③高山中継(上部工強度不足)
4		三瓶ダム分可操管阻	・システム構成として防災行政無線網線路上の三瓶ダム分はVLAN1 寮一を確保する方式とし、三瓶ダム分は独立したネットワークとして管理・運用する(維持管理含む)。	・消防総務課との協議により確認した。
5		冗長性について	・冗長性として 13Mbps 冗長性を計画し、実施設計時には消防総務課との可確認を行う必要がある。	・更新後の 13Mbps に関してはソフトによる冗長性を確保した仕様で対応。
6		消防総務課との協議	・実施設計時には上記内容を含め、消防総務課との協議を行い、綿密な連携を図る必要がある。	・消防総務課との協議を実施し、上記の内容を確認した。
7	受変電設備	噴水ポンプ設置の撤去	・予備発電機更新工事を実施する前に、散入山確保のため、噴水ポンプ設置の撤去が必要である。	・噴水ポンプ関連撤去設計を実施後、予備発電設備および受変電設備の更新を計画した。
8		更新時の仮設工事	・今後の受変電設備更新工事設計では、停止期間を少なくする工夫と、予備発電機や仮設発電機を利用した仮設電源が必要となる。	・受変電設備更新時の仮設配電装置および仮設設計に対応した。
9	予備発電機更新	地味消防との事前協議	・今後の実施設計において、最終の予備発電機と燃料補給方法などが確定した時点で、地味消防との事前協議を実施し、指定数量以上の危険物備蓄への指導を受け、必要な消化設備等を確保する必要がある。	・大田市消防と協議を兼ね、屋外キュービクル式タンク 380 リットル×2 基を設置させ、危険物保安監督員増任の必要のない危険物取扱とした。

6.2 工事発注に向けて

[illegible]

6.3 コスト削減設計留意書

表 6.3-1 コスト削減型引解意書

[illegible]

6.4 システムとしての改良要素

表 6.4-1 三瓶ダム管理設備更新にあたっての改良要素

設 備 名	更新方針資料
多生相線設備 (区-8.4.2参照)	①多生相線装置を簡易多重化し、フェーズ分離とIP化対応
	②伝送容量を60Mbps～120Mbpsに増大し将来の容量UPに対応
	③映像伝送を増加し、三流ダムへモニタリング用の通信記録の完全多重化対応
視覚設備 (区-6.4.3参照)	①順水時計・水時計計測装置に有効なスケール伝送に更新
伝信機電機 (区-8.4.1参照)	①502時間運用対応、入子しやおい艇泊への対応 (見守り24時間検知の設置、入電増) ②長時間型、傾斜型型への改造 (夜夜21時間監視、海防対応、超感度型)



図-6.4.1 屋外キュービクル設置 参考写真（メーカHPより引用）

【更新後】

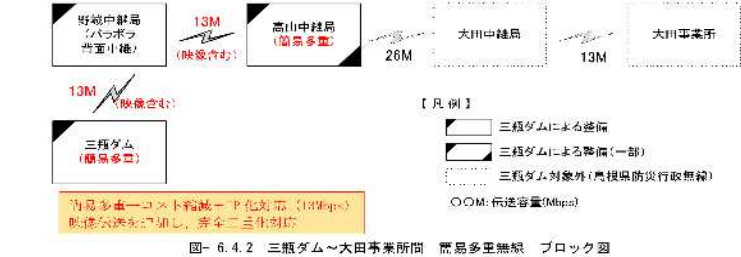
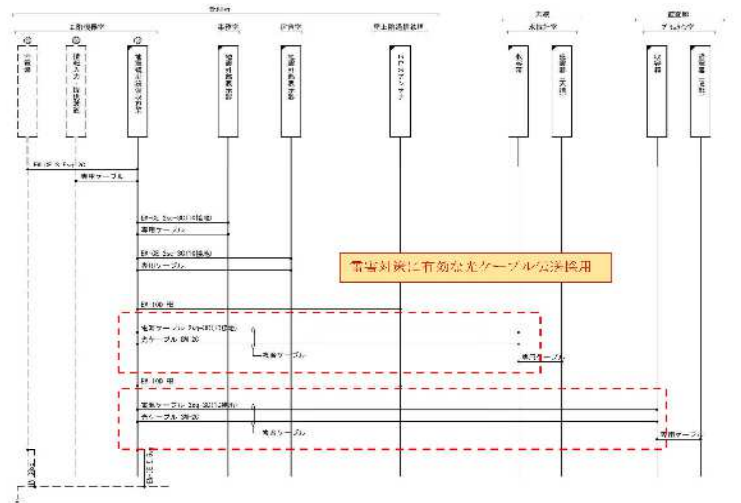


図-6.4.2 三瓶ダム～大田事業所間 簡易多重無級ブロック図



令和7年度 県央県土整備事務所長 特別表彰

表彰種別	業者名・団体名	選考理由	担当部署
ICT技術	東幸建設(株)	<p>【ICT技術の活用】</p> <p>当該業者は、（主）仁摩邑南線外（水上1工区外）県単舗装整備工事において切削オーバーレイを施工するにあたり、3次元起工測量を実施して3次元設計データを作成し、I C Tに対応した切削建設機械を使用して施工を行った。</p> <p>これにより、起工測量、出来形計測管理等、現道上での作業が軽減されて安全性が高まるとともに、精度の高い施工を行うことができ、平坦性に優れた路面を実現した。</p>	大田事業所